

重点事務事業進行管理表

年度	令和7年度	No.	4	進行管理者	市民部長／企画財政部長
事務事業名	DX・デジタル化推進事業（書かない窓口実施事業）				
事業の概要	各種申請書等について、市民が書かなくても手続を行える「書かない窓口」を導入する事業				
これまでの経過	本市における書かない窓口は、必要に応じて来庁者が市民課で発行される受付番号や二次元コード付きの手続案内票を持って窓口をまわる個別受付型で実施することとされた。昨年度実施したBPRにより、業務フローの確認及び見直しが図られた。また、書かない窓口システムは、本市が導入している基幹システムと同様のベンダーが開発したものを採用することが決定された。				
本年度の予算措置	総事業費	134,461千円		うち一般財源	37,231千円
本年度の目標	令和8年2月から書かない窓口を円滑に導入していけるよう、システムへの帳票の設定及び各業務システムを操作するためのRPAのシナリオ作成を行うとともに、市民課をはじめとした窓口カウンター等の整備を年内に実施する。				
上半期の計画と実績	計画	・書かない窓口導入に向けたワーキンググループ（以下「WG」という。）の設置（4月） ・WGによるシステムへ格納する帳票及び設問について審議・検討（5月～6月） ・RPAのライセンス購入及びシナリオ作成の業務委託契約の締結（8月） ・カウンター等の整備工事契約の締結（7月～8月）		実績	
下半期の計画と実績	計画	・WGによるRPAの利用方法及び市民向けアンケートの実施方法等の審議・検討（10月～12月） ・カウンター等の整備工事（～12月） ・システムを利用する担当課職員を対象としたシステム操作研修の実施（令和8年1月） ・書かない窓口の実施（令和8年2月）		実績	
中間評価	達成度	目標以下 ・ 目標どおり ・ 目標以上			

別記様式（第 7 条関係）

	取組の 成 果				
期 末 評 価	達 成 度	目標以下 ・ 目標どおり ・ 目標以上			
	取組の 成 果				
	事業費 の実績	総事業費	千円	うち 一般財源	千円
	今後の 方 針				

（日本産業規格 A 列 4 番）